

事例報告 1

スポーツ医・科学的トレーニングへの取り組み

調査報告 野球の動作分析から

スポーツ医・科学的トレーニング専門委員会委員

富山大学 教授 堀 田 朋 基

1 はじめに

昨年度から医・科学的トレーニング推進委員会では強化種目の一つとして野球を取り上げています。昨年度は主に投球動作の分析を実施しましたが、今年度はバッティング動作をメインに分析を実施しました。また最近の甲子園大会での得点傾向やスピードガンによる投手の球速分布等についても報告したいと思います。

2 測定概要

以下の大会でビデオ撮影（毎秒60コマ）ならびにスピードガンによる球速の測定を実施しました。

① 甲子園大会（春）

本県代表校の試合および決勝戦での打撃フォームを撮影しました。

② 県大会（夏）準決勝

準決勝の4チームの打撃動作およびスピードガンによる投手の球速の測定を行いました。

③ 甲子園大会（夏）

本県代表校の試合および準決勝戦での打撃フォームを撮影しました。

④ 秋季北信越大会

2回戦の福井県代表校と石川県代表校との試合で打撃動作およびスピードガンによる投手の球速の測定を行いました。

またこれ以外に、最近2カ年の甲子園大会における勝利試合および敗退試合の平均得点を算出しました。

3 分析方法

分析は昨年と同様に、ビデオカメラで撮影した動画をコンピュータに取り込んでフォームの分解画像やストロボ効果などの特殊処理を施して動作の比較をおこないました。